

第3章
計画の理念と
目標

1. 基本理念

本町の多くの住民は住み慣れた地域で安全で安心な充実した生活を望んでいます。一人ひとりの人権が最大限に尊重され、児童、障がい者、高齢者といった隔てなく、すべての町民が安心して充実した生活を送り、健康でいきいきと暮らすことができる地域社会をつくっていくためには、様々な主体が積極的に福祉活動に取り組み、問題・課題を地域全体で解決していく必要があります。

そのため、個人の自助努力が前提ですが、個人や家庭では解決することが難しい生活課題を、それぞれの努力や行政による支援だけではなく、町民相互の「支え合い」によってもそれを解決していこうとするなど、自助・共助・公助による地域ぐるみの社会的努力があつてこそ、住みよい地域社会が実現できます。

本計画の理念は、当別町に住むすべての人にとって福祉が、身の周りに当たり前が存在し、実感されるものとなり、当別町の誇れる文化として育ててほしいという願いをこめ、以下のように定めます。



福祉文化をはぐくむまち当別町

2. 基本目標

基本理念を踏まえ、本町の地域福祉のまちづくりの基本方向を次の4つとします。

基本目標1 共に生きる社会をつくります

誰もが互いの個性を尊重しあい、地域で暮らすすべての人が生きがいをもって暮らせるまちづくりを目指します。

そのために、子どもの頃から福祉を学ぶ環境づくりを進めるとともに、子どもと高齢者の世代間交流あるいは健常者と障がい者との交流など、地域で暮らす様々な人々の交流やボランティア活動などの支え合いを通して、共に生きる社会づくりを推進します。

基本目標2 利用者の視点で福祉サービスの仕組みをつくります

町民が抱える多様な悩みや問題を聴き、当事者の目線とともに考え、解決に向けた適切な助言や情報提供が行えるように、また、各人のライフステージにそった、保健・医療・福祉のサービス提供体制づくりを目指します。

そのために、ワンストップ型の福祉サービス※を推進するとともに、常に利用者の立場にたった適切な相談・情報提供のシステムづくりと、保健・医療・福祉が一体となったサポート体制の整備を推進します。

基本目標3 地域住民が共に支え合うネットワークをつくります

町民一人ひとりが住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、地域福祉の重要な推進役として期待される町内会との連携による身近な地域での見守り体制を強化し、ともに支え合う地域づくりを推進します。

そのために、あらゆる福祉情報を集積し、一人ひとりのニーズに合った最適な情報提供や橋渡しを行える機能・仕組みを持つ地域福祉ネットワークの形成を目指します。

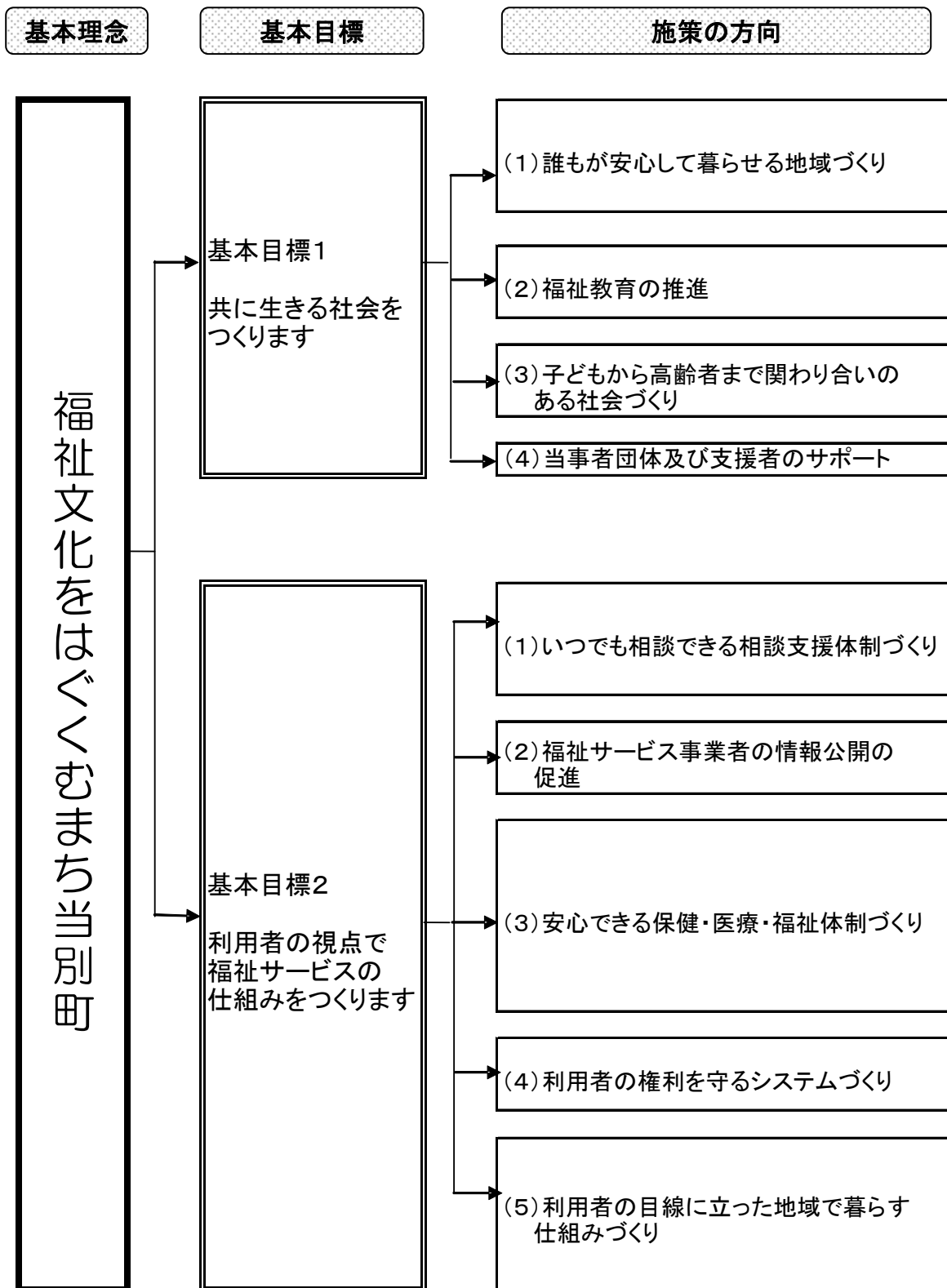
基本目標4 協働の力で誰もが主役になる福祉のまちをつくります

地域の中で町民が主体となって活動し、それを行政等が支援するという役割分担のもと、協働による福祉のまちづくりを目指します。

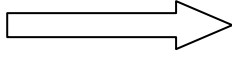
そのために、社会福祉協議会等関連団体との連携とともに、子どもから高齢者までがそれぞれの役割を發揮できる場や機会を創出し、福祉がわがまちの文化として実感できるまちを目指します。

※ 「ワンストップ型の福祉サービス」…一度の手続きで、必要とする関連手続きをすべて完了させられたり、複数の制度等にまたがる情報を、ひとつの相談窓口で得ることができるようなサービス提供形態。

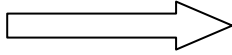
3. 施策の体系



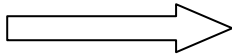
主な取り組み



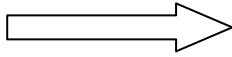
- ① 福祉に対する理解の促進と福祉理念の共有
- ② 地域で育て地域で見守る体制の充実
- ③ 災害時の支援・誘導體制づくり



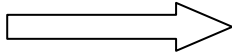
- ① みんなで学び合う教育機会の充実
- ② 個性や能力を活かす生涯学習の推進



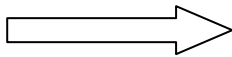
- ① 互いを認め合い尊重し合う、ふれあいの機会づくり
- ② 世代間・地域間の交流の仕組みづくり



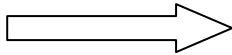
- ① 当事者団体及び支援者との協働的な支援体制の充実



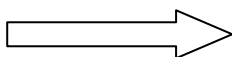
- ① わかりやすく利用しやすい相談窓口の整備
- ② 医療情報の周知の充実
- ③ 子育て支援の充実



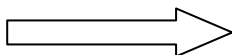
- ① 福祉サービス事業者のサービス内容や水準の公開化
- ② 福祉サービス事業者のチェックシステムづくり



- ① 健康づくりの推進
- ② 生活習慣病予防への指導・支援の充実
- ③ 保健・医療・福祉の連携強化
- ④ 専門職の育成と質的向上
- ⑤ 福祉サービスの効果的・効率的運用の工夫



- ① 地域権利擁護事業や成年後見制度の利用促進
- ② 身近な地域の見守り体制の強化



- ① ユニバーサルデザインによるまちづくり
- ② 日常的な交流による緊急時の支援体制づくり
- ③ 自立支援と就労支援の強化
- ④ 障がいのある人同士の支援の仕組みづくり

基本理念

基本目標

施策の方向

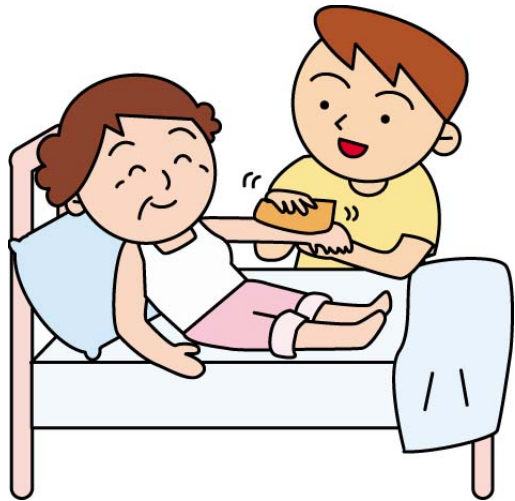
福祉文化をはぐくむまち当別町

基本目標3
地域住民が
共に支え合う
ネットワークを
つくります

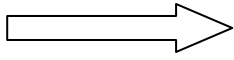
- (1)あらゆる福祉サービスの情報が集まる拠点の創設
- (2)期待される町内会活動等の推進
- (3)それぞれの世代が共に参加・交流できるネットワークづくり

基本目標4
協働の力で
誰もが主役になる
福祉のまちを
つくります

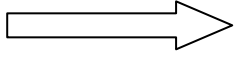
- (1)社会福祉協議会とつくる福祉のまち
- (2)町民の誰もが主役になれる仕組みづくり
- (3)福祉が文化として実感できるまちへ



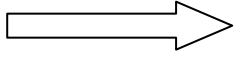
主な取り組み



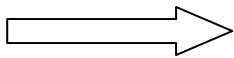
- ① 多様化する生活課題への対応体制づくり
- ② 総合的な福祉サービス体制の構築



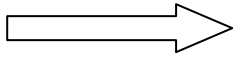
- ① 町内会活動の充実・支援
- ② 地域コミュニティの中からの要支援者の発見



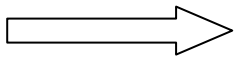
- ① 各ライフステージで参加できる地域ネットワーク体制の整備
- ② 地域の人的資源を活かすシステムづくり



- ① 地域福祉実践計画との相互調整・連携
- ② ボランティアセンター機能の充実



- ① 誰もが生きがいや輝きを発揮できる仕組みづくり
- ② ボランティア、自主サークル等の育成・支援
- ③ NPO等の団体活動への支援強化



- ① 学び合い、助け合い、支え合う意識の醸成
- ② 福祉のまちづくりへの庁内体制整備

